

内視鏡検査 送気に工夫

便潜血検査が陽性となつた場合、精密検査として大腸内視鏡（カメラ）検査が行われます。肛門からカメラを入れて、大腸ポリープやがんなどを直接見ることができ、さらに検査で発見された大腸ポリープを切除することで大腸がんの死亡率を減少させることができます。

しかし、検査前に一～二㍑多量の腸管洗浄液を飲んで大腸の中の便を出すことが必要となるほか、検査にはおなかの張りや、不

大腸内視鏡検査



大腸がん(中)

快を伴つことがあります。中日病院ではおなかの張りを少なくするために、送気には体内で吸収されやすい二酸化炭素を使用し鎮静剤を注射するなど苦痛が少なくなるように工夫しています。それでも、内視鏡検査では大腸の奥までカメラを入れることが困難なことがあります。非常にまれではありますが、腸壁に穴が開く「大腸穿孔(せんこう)」が起こる可能性があります。

そこで、近年は、

大腸コンピューター断層撮影

(CT) 検査が

行われるようになりました。

(山田尚史消化器内科部長・談)



中日病院 名古屋
市中区丸の内3の12
の3。○中日病院=
052(961)2491

快を伴つことがあります。